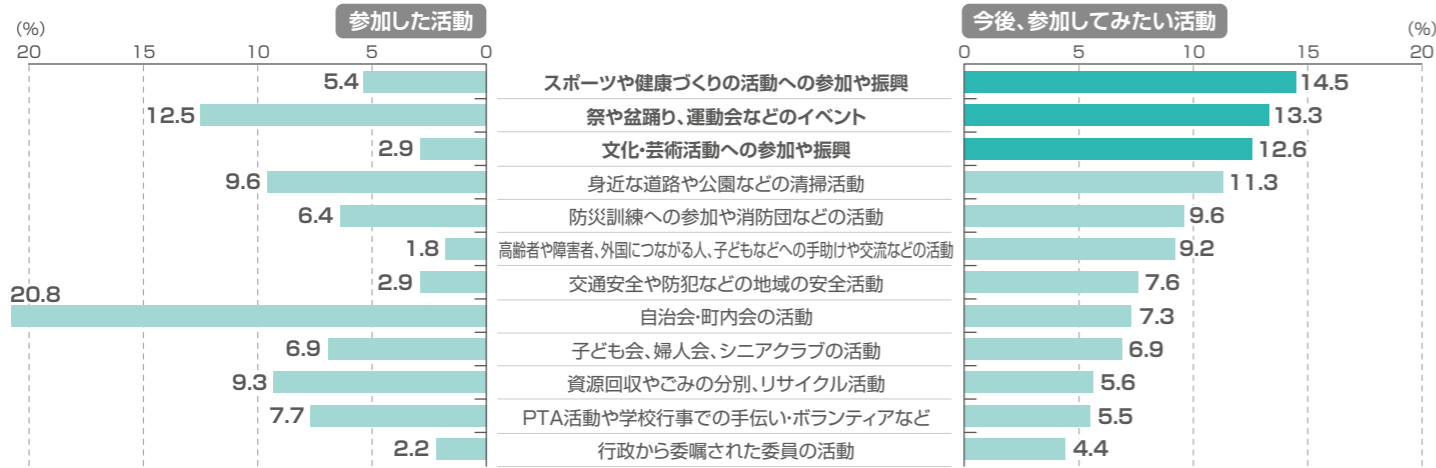


7 地域活動

スポーツ・お祭り・文化などのイベントに参加してみたい人が多い

問20 あなたは、過去1年の間に、地域で参加した活動、今後、参加してみたい活動はなんですか。



8 地域の助け合い

「やっていること・できそうなこと」、「あると良いと思うこと」ともに、「声掛けや安否確認」、「話し相手」が多い

問19 近所の助け合いとして、あなたがちょっとした手助けとして現在やっていること・できそうなこと、あなたが生活している中であると良いと思う手助けはありますか。



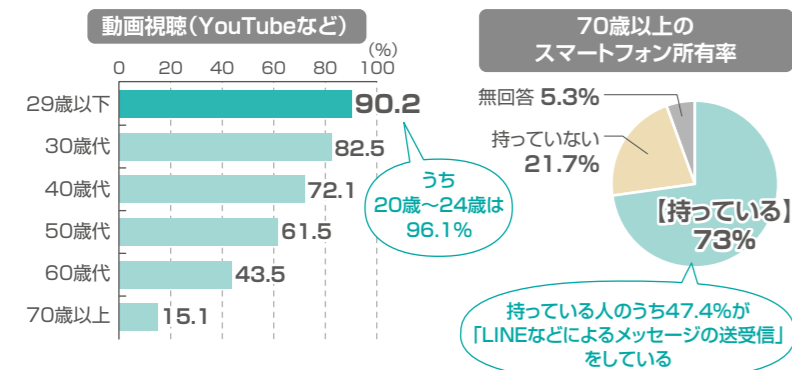
「買い物の手伝い」「子どもの預かり」「外出の付き添い」「掃除や草むしり」は、「やっていること・できそうなこと」と「あると良いと思うこと」の差が大きくなっています。

Column
地域の助け合いや身近な相談などについての取組をレリア（タウンニュース社が提供するコラム）で紹介しています。
レリアHP▶

9 デジタル

29歳以下の動画視聴は9割以上 70歳以上のスマートフォン所有率は7割以上

問27 スマートフォンをどのような用途で使っていますか。



Column
神奈川県行政情報をLINEやSNSで発信しています。

- ◆ 神奈川県公式Xアカウント (旧Twitter) @yokohama_KNGW
 - ◆ 横浜市公式LINEアカウント (登録方法)
 - ① IDで検索「@cityofyokohama」または二次元コード読み取り▶友だち登録
 - ② メニュー▶受信設定▶配信を希望するカテゴリの「選択」を押す▶「神奈川県」を登録
- 横浜市公式LINE▶

令和5年度

神奈川区区民意識調査結果

神奈川区役所では、より良いまちづくりの参考にするため、「神奈川県区民意識調査」を実施し、概要版を作成しました。調査結果の中から、特徴的な項目をまとめています。調査結果全体をご覧になりたい方は、二次元コードを読み取るか、「神奈川県区民意識調査」で検索してください。

二次元コードはコチラ▶



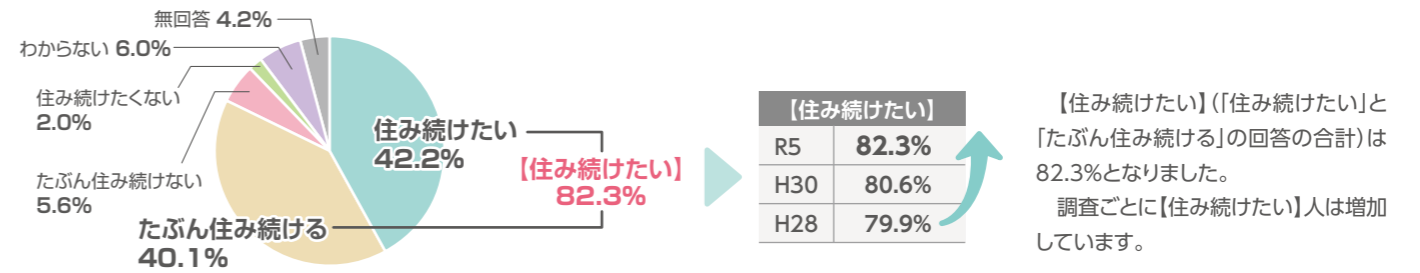
調査概要

〈調査対象〉区内在住18歳以上の男女4,000人 (うち外国籍120人)
 〈抽出方法〉住民基本台帳からの無作為抽出
 〈回答者数〉2,073人 (回収率51.8%)
 〈調査期間〉令和5年6月12日(月)～7月7日(金)
 ※小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合があります。

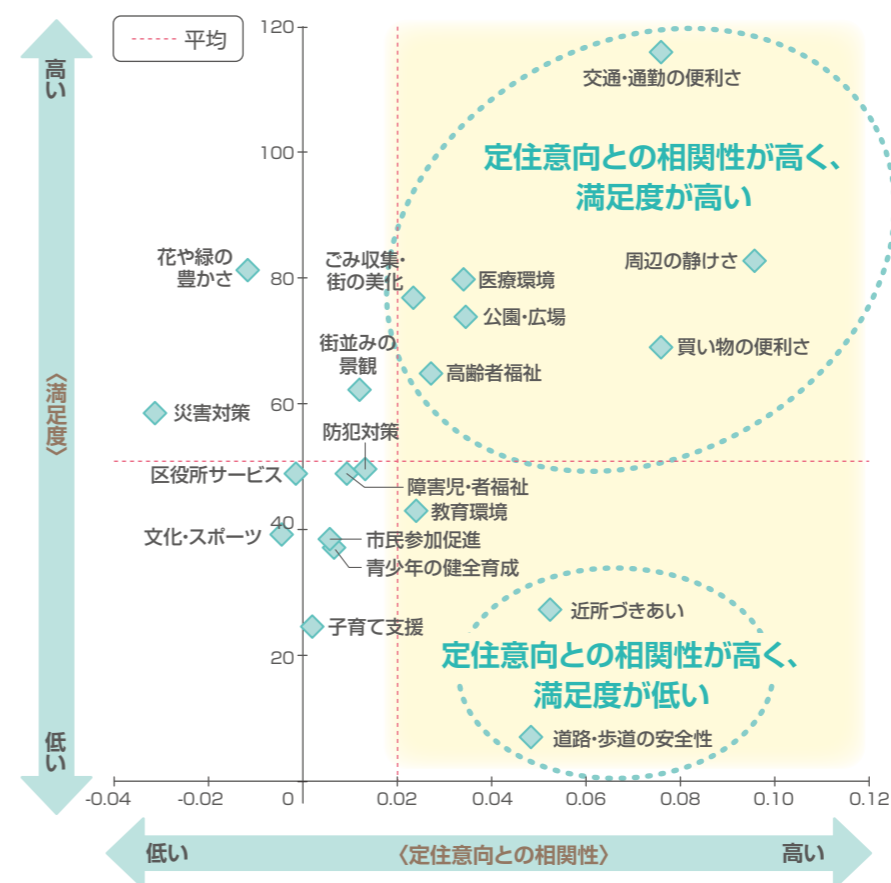
1 定住意向

神奈川県に【住み続けたい】と思っている人は8割以上

問1 あなたは、現在お住まいの地域(あるいは周辺の地域)に住み続けたいですか。



住まいの環境に関する項目で定住意向との相関性が高いのは、「周辺の静けさ」、「交通・通勤の便利さ」、「買い物の便利さ」など



左の図は住まいの環境に関する様々な項目が、定住意向にどれくらい関係しているかを表しています。右にいくほど定住意向との相関性が高い項目になります。



Column

神奈川県では、子育て世代等の流入等により、今後もしばらくは人口の増加傾向が続くとみられています。転入世帯をはじめとする若い世代が地域に迎えられ、つながりあう中で、支えあえる関係づくりを目指します。

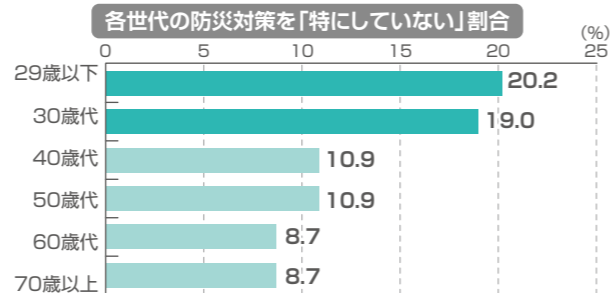
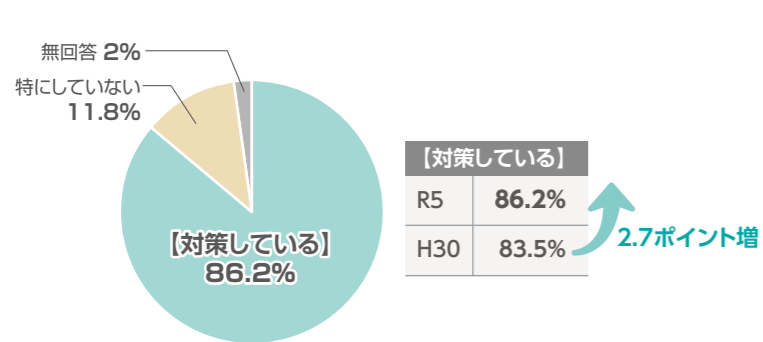
神奈川県運営方針 検索▶



2 防災対策

【防災対策をしている】人が8割以上

問4 あなたのご家庭での日ごろの防災対策(自助)についておたずねします。
あなたやあなたのご家庭では、災害に対して、現在どのような対策をしていますか。



世代別に見ると、30歳代以下の世代は防災対策を「特にしていない」割合が高くなっています。

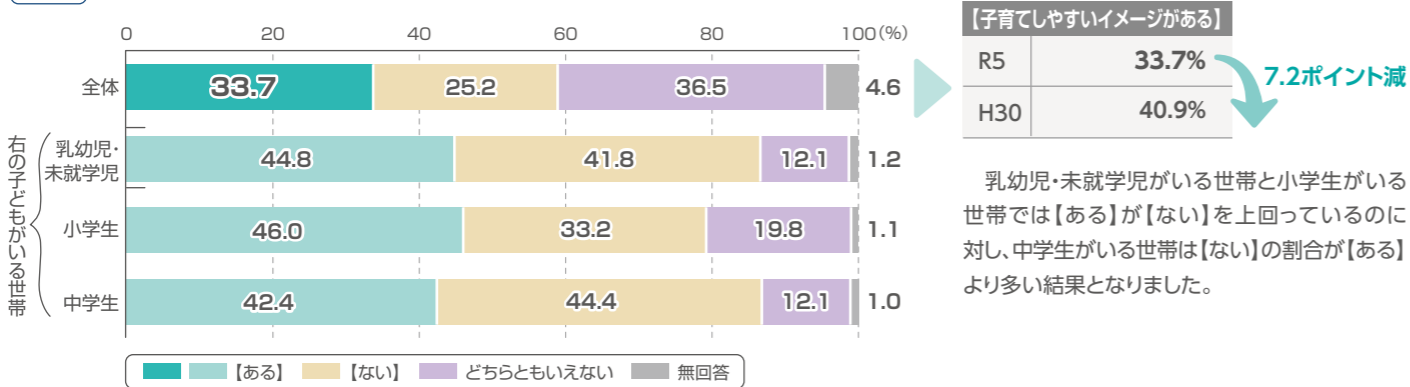
Column
子育て世代の防災対策について
乳幼児がいる家庭では、おむつやミルク、おしりふき等の備蓄も大切です。日常で使用している子育てグッズを思い返しなが、できれば1週間分、最低でも3日分の備蓄をしましょう。

日頃の防災対策でしていること(上位3項目)		
第1位	食料、飲料水を3日以上備蓄している	58.7%
第2位	近くの学校や公園など避難する場所を決めている	49.3%
第3位	トイレパックを備蓄している	34.7%

3 子育て

神奈川区は【子育てしやすい】と感じている人は3割 地域での子育てに求められているのは「遊び場」、「情報」、「相談・交流」

問14 あなたは、神奈川区に子育てしやすいイメージはありますか。



乳幼児・未就学児がいる世帯と小学生がいる世帯では【ある】が【ない】を上回っているのに対し、中学生がいる世帯は【ない】の割合が【ある】より多い結果となりました。

Column
赤ちゃんが誕生すると、地域の人達との交流が増えていきます。地域で子どもの成長を一緒に見守る人がいると、子育て中の安心にもつながります。

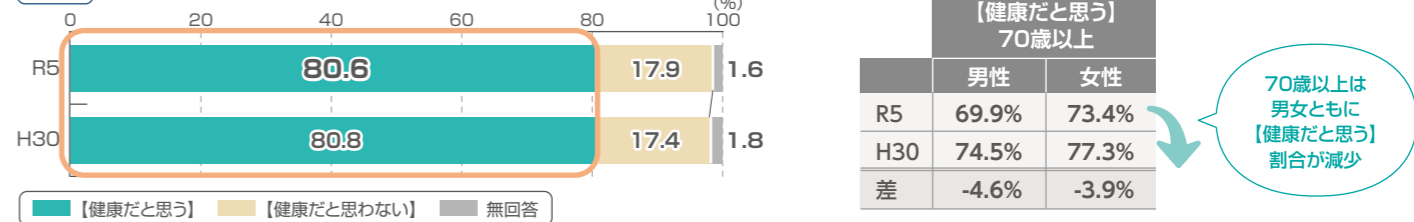
- ①「こんにちは赤ちゃん訪問員」
地域の支援者が赤ちゃんがいる全世帯を訪問し、子育て情報や相談窓口を紹介しています。
- ②「すくすくかめっ子」
身近な地域でおしゃべりや仲間づくりができる親子のたまり場。連合町内会や地域住民等の協力により、47会場で開催しています。

地域で子どもを育てる世帯を支えるために重要なこと(子育て世代の回答・上位4項目)		
第1位	地域の中に子どもが安心して遊べる場所があること	62.0%
第2位	子育てに関する情報が充実していること	41.7%
第3位	子育て中の人々が子育てに関する不安や悩みを地域の人に相談出来ること	35.5%
第4位	子育て中の親同士で交流できる機会があること	34.5%

4 健康づくり

【健康だと思う】割合は前回と比べて大きく変わらない

問7 あなたは、健康だと思いますか。



問8 日ごろから健康のために、取り組んでいること、取り組みたいと思うことはありますか。

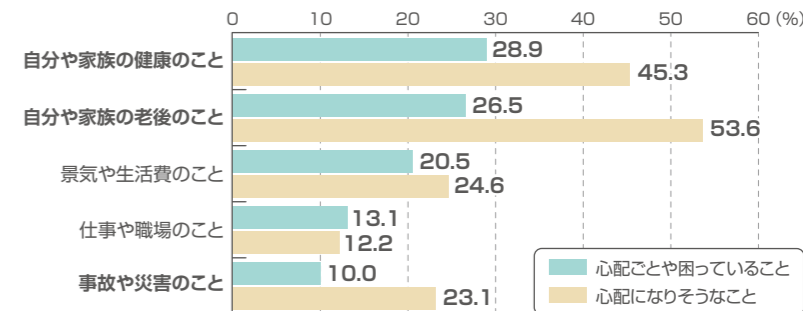
	取り組んでいる事	取り組んでいる割合	取り組みたいこと	取り組みたい割合
第1位	ほとんど毎日、朝・昼・夕の3食、食べる	68.7%	週2回以上、1回30分以上の運動をする	47.8%
第2位	年1回の健康診断を受ける	67.9%	年1回のがん検診を受ける	42.3%
第3位	タバコを吸わないようにしている	67.5%	睡眠により休養を十分とる	37.9%

5 心配事や困っている事

自分や家族の健康や老後のことを心配している人が多い

問18 ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていること、心配になりそうなことがありますか。

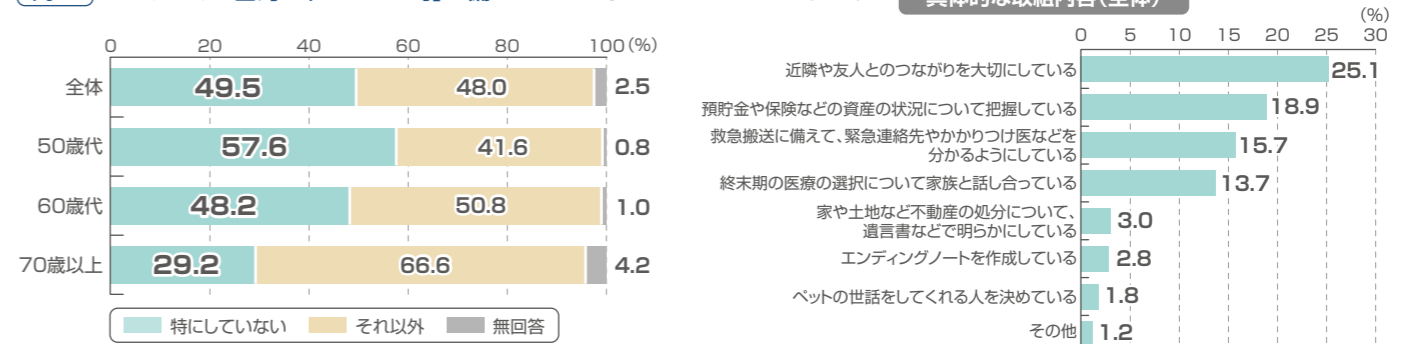
どの項目も現在の心配事より「心配になりそうなこと」の割合の方が高い傾向が見られます。特に「自分や家族の健康のこと」、「自分や家族の老後のこと」、「事故や災害のこと」は現在心配なことと比較して10ポイント以上高くなっています。



6 「もしもの時」の備え

「もしもの時」の備えを「特にしていない」人が半数、70歳以上でも3割

問13 あなたは、ご自身の「もしもの時」に備えてどのようなことをしていますか。



Column
住み慣れた地域で最期まで暮らすために、元気なうちから介護や医療、終末期のことを想定して備えておくことは大切です。

- ① エンディングノート「ライフデザインノート」
「ライフデザインノート」を記入して、最期まで自分らしく過ごせるよう、備えましょう。区役所やお近くの地域ケアプラザなどで配布しています。 [ライフデザインノート](#) 検索
- ② 相談窓口「住まいるイン」
「住まいるイン」では、高齢者向け住宅等への住み替えや空き家に関する悩みごとなど、住まいについてそれぞれの悩みに合う専門家等の窓口を紹介しています。 [住まいるイン](#) 検索